

図9. FDTD 法による VLF 帯パルスの地中伝搬シミュレーション(2次元モデル) (東海大学 [課題番号 : 2501] )

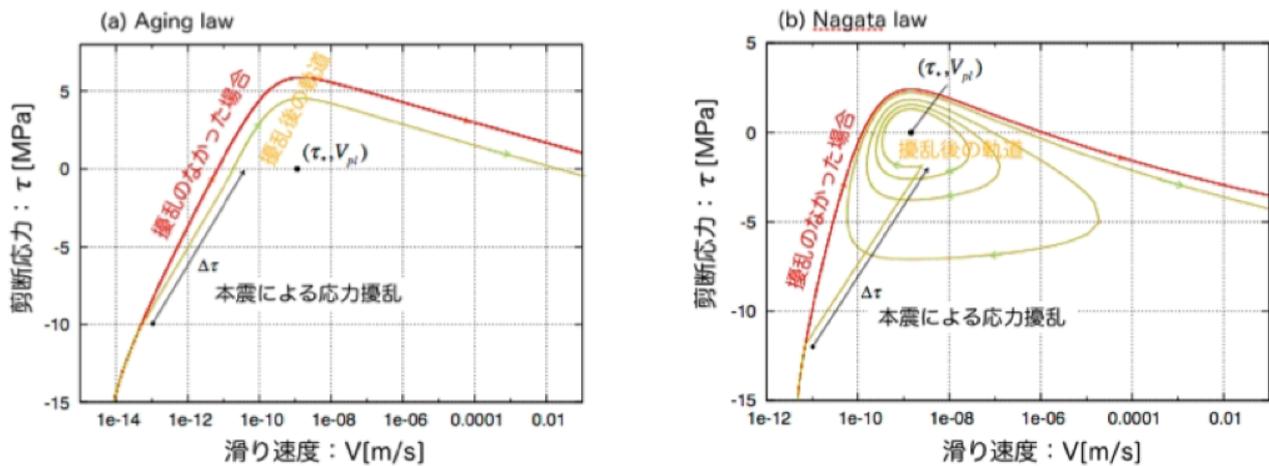


図10. バネブロックモデルでinterseismic時期に応力擾乱を受けた後の運動の発展。(a) 従来の摩擦則。(b) 修正摩擦則。(東京大学地震研究所 [課題番号 : 1421] )

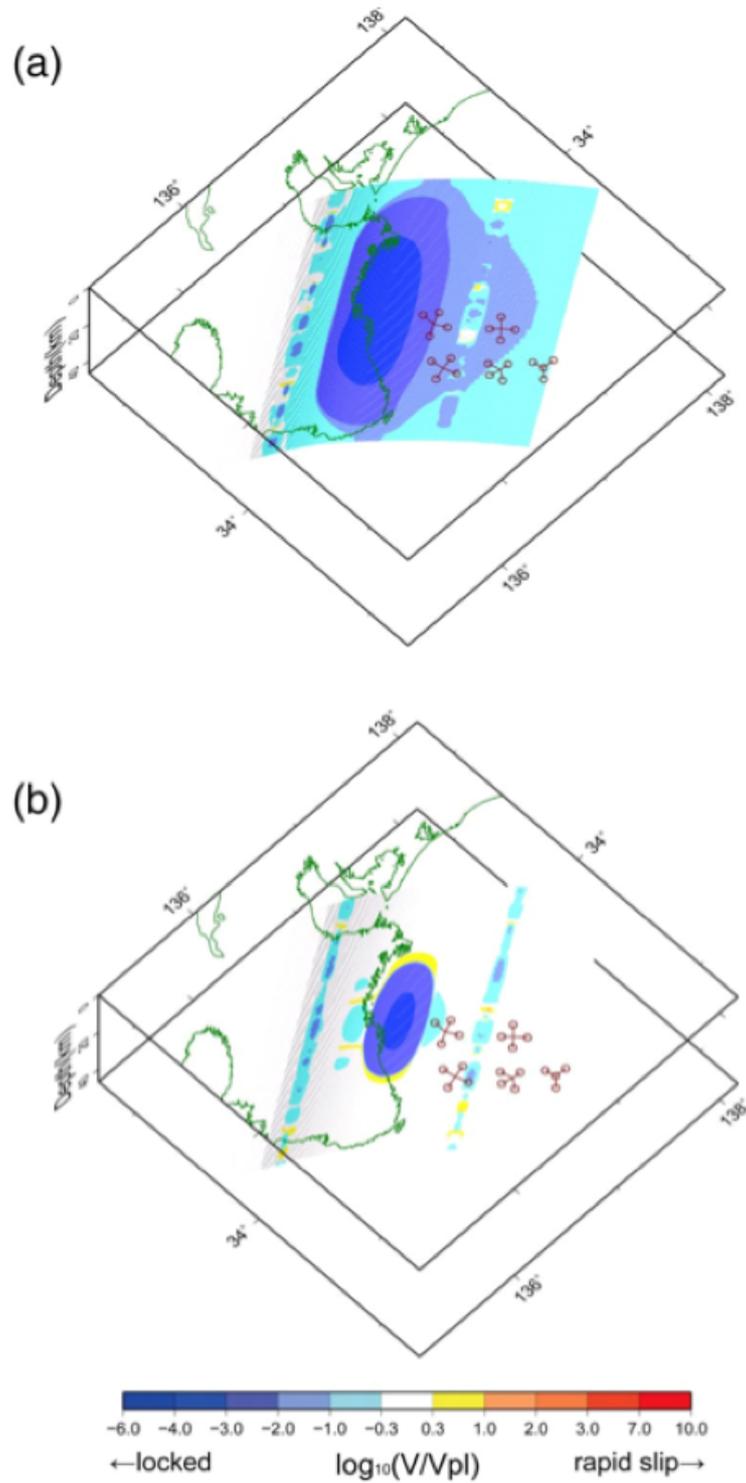


図11. 深部と浅部のゆっくり地震活動の隣接する巨大地震サイクルに伴う変化(摩擦モデルによる計算)。(a)固着期間(東南海地震発生から20年経過)。(b)東南海地震発生直前(約2.5年前)における、滑り速度のスナップショット。寒色系は固着、黄・橙色はゆっくりした滑り、赤色は地震性的高速滑りに相当。赤丸20点はDONETの観測点、それらを結ぶ実線は、サイエンスノードを示す。(東北大学[課題番号:1210])